



第19回福祉講演会特集 平成27年3月14日(土)開催 於：鴨居中央会館

早春の不思議体験

緑福祉保健センター 南 有里

3月14日、「不思議だな！と思う気持ち」がテーマの第19回鴨居地区福祉講演会に参加し、『不思議な』体験をしました。

不思議だな・・・講師のキャサリン野村さんのバッグに入った、赤ちゃん羊メーちゃん。キュートな口の動きと愛らしい声、大きな寝息の魅力に、会場全体が釘付け。

不思議だな・・・キャサリン野村さんと揃いのキラキラ帽子をかぶった、ケンタちゃんとサクラちゃん。人形とわかっているのに、ちょっとおませな二人のおしゃべりに、みんなで大笑い。いっしょに歌ってウキウキ。

不思議だな・・・エレガントな姿と明るい笑顔がステキなキャサリン野村さん。その面白い腹話術とクイズと一緒に楽しみ、会場にいる全員が、旧知の間柄のような雰囲気。顔を見合わせてアハハと笑ったり、へーと感心したり、素直な気持ちが行き交ったから？

笑いは免疫力を高め、健康な生活に欠かせないと言われています。みんなで一緒に笑うと、リラックス効果も、「地域のつながり」効果も高いなあと感じた一時でした。

今後とも、区政へのご支援をよろしく願いいたします。



福祉講演会に参加して

横浜市鴨居地域ケアプラザ
所長 藤野 宏史

3月14日、鴨居中央会館にて第19回鴨居地区福祉講演会が開催されました。

「不思議だな！と思う気持ち」のテーマで腹話術師のキャサリン野村さんをお迎えし、人形二体との楽しいかけ合いに会場は参加者の和やかな笑い声と歌声に包まれました。

テーマの通り、まさに不思議！キャサリンさんの口元は一人三役をこなしているとは信じられない見事なパフォーマンス。その高い技術と演技に驚きました。

企画と準備のご苦労がある中、今回で19回目を迎えたという福祉講演会。長年にわたる開催の継続と参加者全員で作り出すあったかい雰囲気にあらためて鴨居の地域福祉のちからを感じました。

地域と人と福祉をつなぐ、地域のパートナーとして役割を果たしていくことができるよう、鴨居地域ケアプラザもあったかいコミュニケーションを大切に、これからも信頼される施設であるよう努めていきます。

—*—*—*—*—*—*—*—*—*—*—*—*—*—*—*—*

福祉講演会に参加して

鴨居第六地区 佐々木田鶴子

会場の拍手に迎えられ、素敵な笑顔で登場された講師の「キャサリン野村」さん。芸名が「キャサリン」とのこと、日本の女性でした。テーマ腹話術「不思議だな！と思う気持ち」、腹話術と時折マジックをまじえての名演技に、会場は、ウン、ソウ、ソウとうなずきながら終始笑いの連続でした。「笑う門には福来る」「笑って暮らすも一生、泣いて笑うも一生」等々……。笑うことは、健康に一番の薬と、よく耳にします。本当にそうかもしれませんね。素直にいろいろなことに「不思議だな！」と思う気持ち、そして、それを笑いに変えられたら、残りの人生、少し楽しく過ごせそうな、そんな気がしてきました。とかく暗いニュースが多い昨今、久しぶりに大笑いし、途中のクイズは少々頭の体操になりました。楽しく有意義なひとときをありがとうございました。

(裏面もご覧ください)

福祉講演会に参加して

第七地区会長 椿山 吉満

鴨居福祉講演会が、平成27年3月14日(土)鴨居中央会館で開催されました。

講演会の講師は、腹話術師キャサリン野村さん、いっこく堂の影響で腹話術を始めたそうです。人形を使用してのパフォーマンスは、観客を自然に幸せな笑いの世界へと導いてくれました。

キャサリンの腹話術は、われわれ観客が楽しんで、まずは笑うという健康の秘訣から入っていく。そして歌をうたい、合唱し、皆で声を出す。声を出すことによって、体全体をリラックスさせる笑いの世界へと、導いてくれました。

手、足、目の動作を両手であやつり、そして声も変えて、二人の人形とキャサリン野村さん、私もいつの間にか、笑いの世界に引きずり込まれ、自然と体が動いていました。

笑うということは、人を幸せにするものだなあと、つくづく感じ、話術の楽しさを体感いたしました。

また、参加された方々の笑顔、共助、公助、近助へと、コミュニケーションがとれたうれしさを胸に、帰路につきました。

「笑うこと、人生楽しく、明るく、元気で」
笑顔の世界へ、ありがとうございました。

笑う門には腹話術

第八地区 K生

腹話術を見たのは子供の頃で60年前。当時の記憶が鮮明に残っている。しゃべれる内容も変わったとは言え、知らない間に随分と進化していた。「ダジェイ」のケンタ君は発泡スチロール製とか。当時の人形はハリボテ式で結構重く膝の上に載せて対話形式だったと記憶している。まして両の手で操るなんて想像も付かなかった。手品を組み込んだキャサリンの会話もユーモアに富んでいて人形の世界にマジックの世界にと引きずり込まれて我を忘れて大笑い。老いたら子供に返ると聞いては居たがまさにその通り。観客を引き込むウィットに富んだ話について行こうとすると、ボケてる暇はなさそうだ。

19回もの回を重ねた福祉講演会の『鴨居の皆さんがいつまでも元気で』のテーマにピッタリであったしこの企画をされた関係者に感謝します。

話の中に有った算数の計算式を忘れない内に書いておこう。

$$(\square \times 2 + 10) \div 2 - \square = ?$$

□は好きな数字。答えは必ず5になる。では次の計算の答えはいくつになりますか？

$$12345679 \times \square \Delta = ? ? ? ?$$

□+Δ=9の数字を入れてね。

《できごと・お知らせ》

◎鴨居お食事会 200回記念

鴨居ボランティア 滝 明美

鴨居お食事会の第1回目が白山地区センターで開かれたのは、平成元年6月でした。

以来、20余年を経て、今年3月で通算200回目を迎えることができました。

また、今年は鴨居会館食事会と鴨居ケアプラ食事会に分かれて活動するようになってから5年目の節目にあたり、緑区社会福祉協議会から表彰されるという記念すべき年にもなりました。

これも、会を支えてくださった大勢の先輩ボランティアさん、民生委員児童委員の方々、地域の皆様のおかげと深く感謝申し上げます。

3月のお食事会当日は、いつもながらの手作りの献立に少し工夫をして、お祝いの気分を込め、会員の方々に楽しんでいただきました。

今後も、季節感あふれる丁寧な食事づくりを目標に、この会が会員さん相互の交流の場となるよう、努力してまいります。

どうか引き続き関係する皆様方のご協力ご支援を賜りますよう、お願いいたします。

200回の歴史を受け継ぐとともに、会員の皆様のご健康とご長寿を祈りつつ、新たな一歩を踏み出したいと思います。

＜お食事会 200回記念＞
～松花堂弁当～



◎鴨居の両食事会、区社会福祉大会で表彰！

2月20日、第33回緑区社会福祉大会で、鴨居会館食事会・鴨居ケアプラ食事会の両食事会が表彰されました。



編集後記

3月も下旬になり、お花見の時期が近づきました。のんびり外を歩くには絶好の季節ですね。今回から、本紙の紙面のレイアウトを変更させていただきました。いかがでしょうか？ご意見等ありましたら社協役員にお知らせ下さい。